

巻 頭 言

ヒューマンサイエンス第27号をお届けします。

本誌ヒューマンサイエンスは、本研究科の大学院生がその研究成果を発表し、相互に研鑽を積むための場として自主的に運営されてきた研究誌です。研究科の支援の下とはいえ、このような研究誌を四半世紀を超えて継続してこれたことは、本研究科の大学院生の自主独立精神の発露ともいえ、大変に意義深いことと感じます。これまでに本誌の発行にご尽力くださった皆様に厚く感謝申し上げます。

さて、今号は、論文3編、博士学位論文の要旨1編、修士論文の要約11編、研究ノート21編、フィールド便り2編という構成となりました。白石・横田の論文は、ナメクジがビールに誘引される現象に着目し、ビールのナメクジ誘引成分を調べることを目指したもの、鶴田の論文は、ロシアのアニメ映画『霧につつまれたはりねずみ』の心理学的分析を通じて心理療法に有用な知見を得ようとするもの、谷川の論文は、遠隔コミュニケーションと食事の関係を探求するもので、いずれも興味深いテーマを取り上げております。

また、昨年度に引き続き、今年度も博士号学位取得者がおりますことは、非常に喜ばしく思っております。その学位論文は、同じ育室内で幼虫が生育するアルマンアナバチにおいて生じる幼虫同士の共食いを、鳥類の兄弟殺しのモデルを当てはめて行動生態学的観点から捉えようとする大変意欲的なものです。

そのほか、修士論文の要約、研究ノート、フィールド便りといった、院生の研究成果や研究活動の現況をうかがえる投稿も多数掲載しております。

ご覧いただければ幸いに存じます。

三浦 欽也

(神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 研究科長)